

第8節 5日目：6月22日（土）：猪谷～富山 晴れ

2024年6月22日（土）晴れ、高山本線仕上げ旅の第5日目は、猪谷から富山までの営業キロ36.6kmに挑戦する。営業キロ35km超えは2022年8月3日（水）山陰本線（温泉津～浜田）以来である。それ故、精神的なプレッシャーを感じ本日の歩きに臨むこととなった。当初は万一の場合を想定し、2日の日程を配慮し旅プランを立てた。しかし、明日は大雨のため、何としても夕方までには富山駅に到着したかった。ただ、大きな助け舟は、富山駅が終点のため乗り継ぎ時刻を心配しなくてもいいし、賑やかな駅舎に向かうプランのため、沿道の人々の応援に期待できたこと。正に、こだわり鉄道つたい歩きの第5条（先憂後楽の考え方）に準拠した歩き方だった。



※フォーシズンを後にする



※お世話になった寿楽久。高山駅



※猪谷駅への道中



※猪谷駅（JR 東海、JR 西日本の車両）



※猪谷駅



※猪谷駅



※猪谷駅

高山駅 5時 31 分の始発のため、昨夜も枕を高くしての就寝はできず。ただ、地図を見る限り、猪谷～坂上間に比べ、本日の区間が易しく感じたので、多少安堵感があつた。加えて、笹津辺りから平野部分となるので、精神的にも楽であった。ただし、笹津から東八尾にかけて大きな迂回、また婦中鵜坂～西富山にかけて川が絡むという難関区間であった。

本日の各駅到着時刻は次の通り。

猪谷(6:46)～楡原(にれはら、8:53)～笹津(10:12)～東八尾(12:37)～越中八尾(13:40)～千里(ちさと、15:05)～速星(16:36)～婦中鵜坂(16:53)～西富山(18:51)～富山(19:48)

①猪谷駅に到着するや否や駅備え付きノートにメモする。飛騨細江駅に続き2度目である。猪谷駅は高山方面がJR東海の管轄、富山方面がJR西日本の管轄となっていた。猪谷駅を下車するとJR西日本の車両(2両)が停車していた。駅舎の玄関先には観音菩薩像があった。本日は6月19日(水)が猪谷から高山方面向かうのに対し、反対の富山方面を目指す歩きとなる。本日は概ね下り坂であり体力的には楽であった。しかし、6月19日の歩きに比べ、重いリュックを背負っての歩きであったので、足腰には多少負担を感じた。7時、駅前にある国道41号線を歩く。風強し。右手に工事中の赤橋があった。7時10分より、万歩計で468歩ある猪谷洞門を通過する。この洞門を出ると177歩ある猪谷橋があった。このトンネルを出ると、常虹の滝の案内板があった。この辺りで瞬間的に上り坂となるが、間もなく歩くと下り坂となる。7時36分、道の駅細入前を通過。7時40分、肩掛バス停(地鉄バス)を通過する。その先で自転車野郎と対面する。上り坂で大変そうであった。右手にダムがあった。7時51分より、全長1,034mある庵谷トンネルを通過する。



※赤橋、ダム



※庵谷トンネル



※細入村役場

このトンネル出ると第2の庵谷トンネル（304歩）があった。8時7分より通過する。トンネルを出た先でも自転車野郎と対面する。8時19分、道路標識を見て旧国道41号線に変更する。直進はバイパスとなっており、楡原駅には繋がっていなかった。8時25分より、135歩ある長谷谷洞門を通過する。8時30分より、4号と表示された洞門（300歩）を通過する。8時33分より、松ヶ谷洞門（234歩）を通過する。8時51分、細入村役場前を通過する、楡原駅には8時53分到着する。この駅は道路から急な階段を上った先にあった。バイパスに行かなくて大正解であった。



※楡原駅



※楡原駅

②9時4分、楡原郵便局前を通過。9時24分より、416歩ある岩稲橋を渡る。右手には富山県漕艇場（9時30分）があった。9時36分、岩稲という地名を通過。9時44分、左手にJR線を確認できホッとする。9時50分、笹津交差点を通過する。9時55分、国道41号線から枝分かれとなる県道25号線（栃波細入線）があった。誤って、八尾という表示があったので、この幹線道路に進もうとするが、川を渡らず道路は進行するのでNGと判明し引き返す。5分ロスタイムが生じる。10時1分より、137歩ある笹津橋（神通川）を渡る。暫く歩いた先に笹津駅（10時12分）があった。



※笹津駅への路



※笹津駅への路



※笹津駅

③10時20分、春日踏切を横切り鉄道の左側となる。丁度、上り特急がやって来ることであった。10時23分、幹線道路は県道69号線（富山笹津線）だった。10時55分、住吉神社前で本日の安全を祈願する。10時58分、稲代交差点で県道341号線に左折する。11時8分、神通川を渡る。この川には数人の釣り人の姿があった。葛原（つづはら）T路地交差点で県道25号線に入る。11時49分、右手に雪化粧がある立山連峰が見える。11時55分、八尾町井栗谷という地名を通過する。12時5分、右手にJR線が見えて来る。この界隈で郵便集配中人に遭遇し、東八尾駅への道筋をお伺いする機会を得る。「1km位取り過ぎています。遠くに白い建物があるところまで戻って下さい」と教えて頂く。多少速足で引き返す。幹線道路から300m位歩いた先に東八尾駅（12時37分）があった。40分位ロスタイムが生じる。先程郵便局の集配人の方と出会った地点には12時56分に戻る。



※東八尾駅への路、釣り人あり



※道路決壊、東八尾駅への路



※東八尾駅

④13時5分、笹津街道踏切を横切り、鉄道の右側となる。13時23分より、252歩ある杉原橋を渡る。13時40分、特急停車駅の越中八尾駅には13時40分到着する。



※この郵便ポスト地点で引き過ぎに気付く



※越中八尾駅への路



※越中八尾駅

⑤14時8分、ローソンに立ち寄り、菓子パンを購入し、遅いランチとする。14時20分、しんでん保育園があった。14時25分、一面に水田が広がる田んぼ道を歩く。14時28分、諏訪神社前を通過。4時34分、八幡宮前を通過。千里（ちさと）駅には15時5分到着。



※千里駅への路



※千里駅

⑥15時7分。高日付踏切を横切り鉄道の右側となる。15時22分、神保小学校前を通過。15時35分、田んぼ道がある路地を歩く。15時53分、左手にJR線がある。16時1分、224歩ある高田橋（井田川）を渡る。16時11分、JR線下を潜り、鉄道の右側となる。地図をいつの間にかロストし多少制御不能の状態となる。民家がある路地に入り、右往左往しながら速星駅を目指す。通行人を探すが誰一人合わず。やっと通行人の方に出会い、速星駅への道筋を聞く機会を得る。「真っ直ぐ歩いた先の踏切を横切り、鉄道に沿って歩いた先にあります」と教えて頂く。16時30分。速星踏切を横

切り鉄道の右側となる。そして鉄道に沿って歩いた先に速星駅（11時46分）があった。この駅には車両基地があった。



※速星駅への路



※速星駅



※速星駅

⑦速星駅から地図ロストにより迷走する。鉄道に沿った道筋を歩く。17時2分、本郷踏切を横切って鉄道の左側になったのが失敗だった。大きく鉄道から離れとんでもない方向に進む。一人目の通行人の方に、婦中鵜坂駅の方向を教えて頂く。しかし、鉄道が見えず右往左往する。車に乗ろうとしている二人目の方に、運よく婦中鵜坂駅への道筋を尋ねる機会を得る。「ややこしいから送ります」と言って、助手席に乗せて頂く。くねくね迂回した道筋を車は進み、16時53分やっと婦中鵜坂駅前に到着できる。この親切な方によると、「休日は撮り鉄ファンでこの界限一杯になる」とのことであった。カッシーちらしを手渡し、お礼を言って別れる。もし、この人に出会っていなければ、少なくとも30分位所要時間を要していただろう。本日最大の助っ人であった。感謝感激で一杯となる。



※婦中鵜坂駅への路



※本郷踏切の横切りで迷路に入る



※婦中鵜坂駅

⑧婦中鵜坂駅から西富山駅への道筋もややこしかった。多少勉強した道筋が頭にインプットされていたのが功を奏した。くねくねした道筋を歩き、17時48分、国道62号線に出る。遠くに高山本線を走る列車を目にする。確認のため、ガソリンスタンドの従業員の方に西富山駅への道筋をお伺いする。ネットで検索して頂き道筋を調べて頂く。私が勉強した道筋であった。すなわち62号線を直進し、国道59号線と合流する交差点で右折し、神通川を渡る。そして、高山本線の踏切を横切り、鉄道に沿って歩くという道筋であった。しかし、歩いて歩いて国道59号線は登場しない。やっと、17時55分、国道59号線に合流できる。18時3分より、296歩ある新井田川橋（神通川）を渡る。国道59号線の歩きに対し、多少不安を持ちながら進む。18時9分、前方に金星踏切を見つけ安堵する。丁度、猪谷方面に向けて列車が通過する場面に出くわす。18時42分、白鳥神社があった。西富山駅には18時51分到着する。

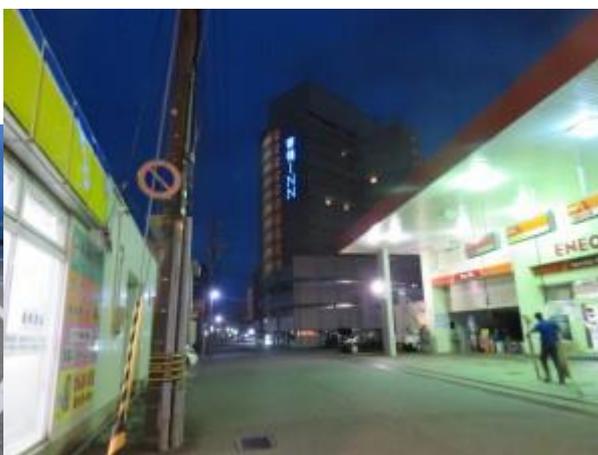


※西富山駅への路

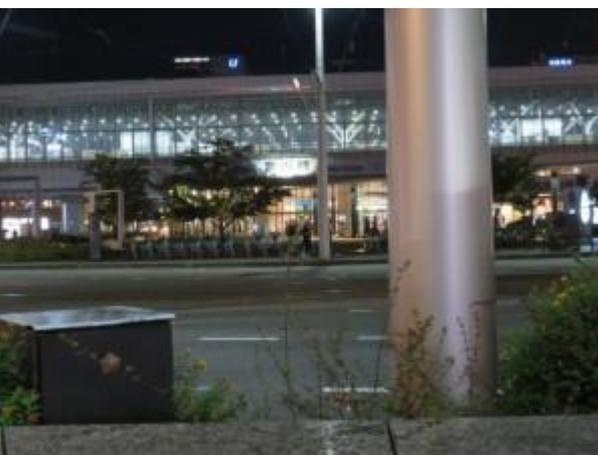
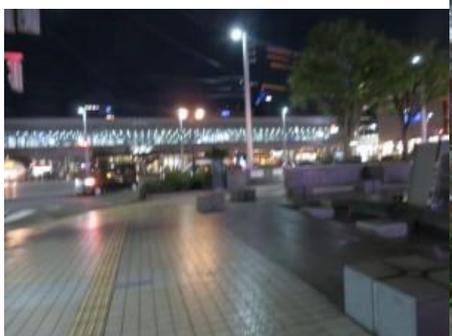


※西富山駅

⑨西富山駅から少し歩いた先で、富山駅への道筋をお伺いする。辺りは暗闇となっていた。「遠いですが、この道を歩いて、大通りを左折しどンドン歩き、突き当たりT路地を曲がり、直進した先に富山駅があります」と教えて頂く。安全を期し、要所要所で聞きながら富山駅を目指す。19時11分、西部中学校前を通過。19時27分より、743歩ある神通川を渡る。まもなく歩くと富山駅（19時48分）が左手にあった。富山駅への途中、見覚えのある東横インがあった。



※富山駅への路



※富山駅

⑩数年前にお世話になった漁火を探しながら東横インに向かう。結果探すことができず。東横インには20時5分到着。汗を流したあと、漁火の後継店舗の”あいの郷”に出向く。カッシーちらしを渡す。統計データに驚く。途中、新来客との情報交換もあり、約2時間楽しい懇談が続く。充実した一日であった。明日は大雨の様相なので、助かった。



※高山本線踏破祝杯！！

第9節 6日目：6月23日（日）：富山ガラス美術館観光 大雨

2024年6月23日（日）大雨、当初のプランは、永見線（永見～高岡：営業キロ16.5 km）も考えていたが、大雨のため中止する。14時まで学生時代から楽しんでいるNHK将棋・囲碁トーナメントの観戦とゆったりホテルで骨休みする。

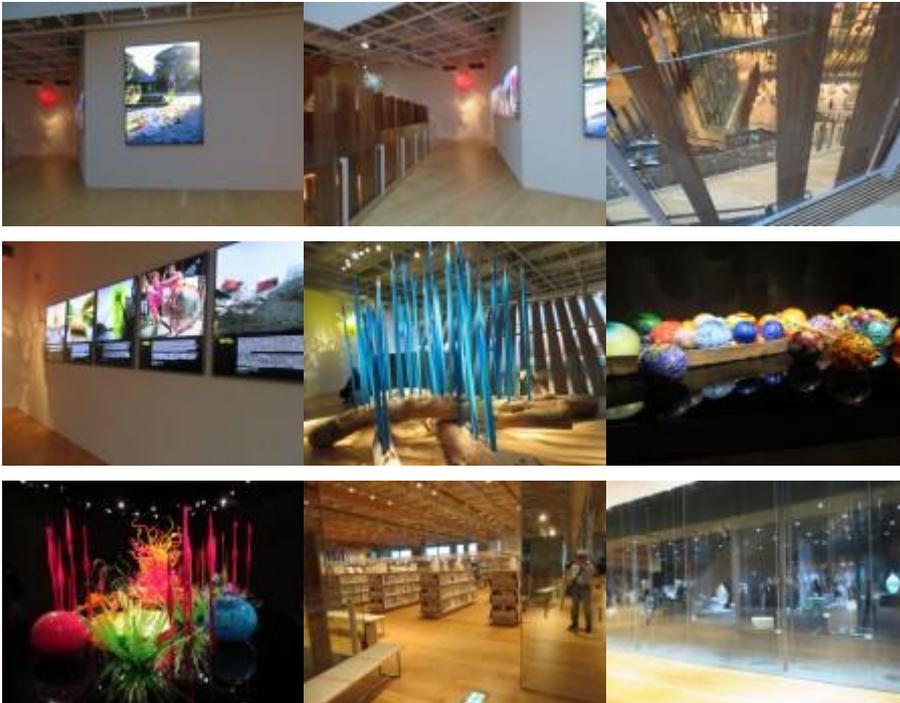


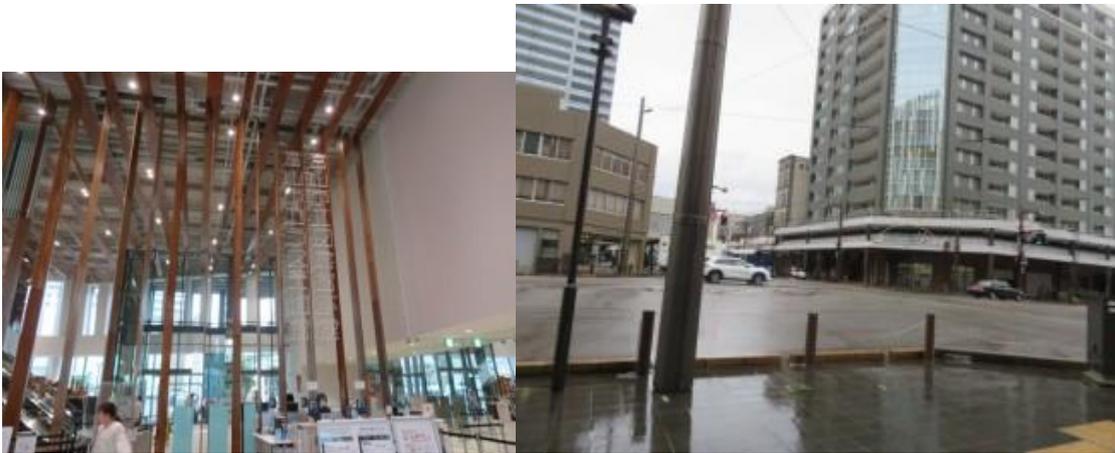
※富山ガラス美術館





その後、富山市電に乗車し、富山ガラス美術館（建物は世界的な建築家の隅研吾氏）の鑑賞に出向く。6階、4階、3階とガラス作品が展示されていた。久しぶりに目に栄養剤を注入することができた。この鑑賞は高校の先輩から推奨頂いた。かつて紀勢本線の旅（2018年2月）でも串本海中公園の推奨があり訪れた。骨休みの中にも充実した一日が送れ、感謝また感謝で一杯となった。ホテルを出る際、本降りの雨であったが、運よくガラス美術館を出る頃には上がっていた。寺部先輩有難うございました。この場をお借りして熱く厚く御礼申し上げます。





ホテルの戻り、汗を流した後、ホテル紹介の吟チロリに出向く。ここでも千葉在住の若者と懇談できる機会を得、旅の魅力をひしひしと感じる最高の一日となった。吟チロリを出た後、運よく小雨模様の中祭り場面にも遭遇する。





※富山の夜を締める



※祭り行列に出会う

第10節 7日目：6月24日（月）：帰宅 晴れ

2024年6月24日（月）晴れ、6月18日（火）～6月24日（月）までの6泊7日の旅の最終日は、新幹線での帰宅の途。昨日と同様、本日もホテルでゆっくり朝食をとることができた。本旅を振り返り、昨日は大雨であったが、その他はお陰様で天気にも恵まれ高山本線（岐阜～高山～富山：225.8 km）に登場する45駅舎をすべて立ち寄ることができた。振り返れば、下油井～飛騨金山、猪谷～杉原、婦中鵜坂～西富山など難関区間もあったが、地元の人のご多大なご尽力で無事踏破することができた。また、下呂温泉や白川郷の観光地などにも立ち寄ることができた。更に、夜は居酒屋で地酒や料理も堪能することができたし、多くの出会いもあった。思い出すと約2週間の苦しくもあり楽しい思い出が湯水の如く登場する。



高山本線の踏破を終え、本州にある13本線のすべてを各駅舎立ち寄りにより踏破でき、感無量の思い出で富山駅を後にする。新幹線の中で感動の思いをSNSやSMSで友

人に発信する。旅はいいものですね。また、有言実行による達成感は気持ちのいいものですね。（完）

